

救命救急センターにおける高齢者のアドバンス・ケア・プランニングに関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター救急科では、「救命救急センターにおける高齢者のアドバンス・ケア・プランニング（「人生会議」、もしもの時にどんな医療やケアを望むか）に関する研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、重症な高齢患者さんが、事前にどういった治療を受けたいか意思表示をされているかを調べ、さらにはどのような因子が患者さんの治療方針決定に影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2024年1月1日より2024年12月31日までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは救命救急センターへ搬送され入院となった65歳以上の方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、性別、意識状態、入院期間等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年6月

研究責任者 栗原智宏
東京医療センター 救急科
連絡先 03-3411-0111(代表)